

II 特用作物

1. てんさい

- (1) ユーデン (系統名 HT9) 1996年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第40号

セールスポイント

「スターヒル」より根重が多く、根中糖分はやや下回るが糖量が優る。また根腐れ症状が「スターヒル」よりやや少ない。

来歴 本品種は、スウェーデンのヒレスヘッグ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-303-E」を種子親に、四倍体多胚系統「4x/7」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1991年に北海道糖業株式会社が輸入し、1992年から「HT9」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長は中、葉数は中である。根形

はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。

- 根重は「スターヒル」より多く、根中糖分は「スターヒル」よりやや低く、糖量は「スターヒル」より多い。
- 有害性非糖分は「スターヒル」に比べ、アミノ態窒素は低く、カリウムはやや高く、ナトリウムは同程度で、不純物価は「スターヒル」並である。
- 抽苔耐性は「スターヒル」と同じ強である。
- 耐病性は、褐斑病抵抗性は「スターヒル」と同じ弱である。根腐れ症状の発生は「スターヒル」に比べてやや少ない。
- 耐湿性は「スターヒル」、「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性は弱なので、適期防除に留意する。また、排水不良な圃場では栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ユ ー デ ン	6.44	17.80	1,143	106	100	106	105	1992~1995
	モ ノ ホ マ レ	6.09	17.77	1,079	100	100	100	100	
	ス タ ー ヒ ル	5.96	18.08	1,076	98	102	100	104	
北 見 農 試	ユ ー デ ン	6.61	18.18	1,199	105	100	105	110	1992~1995
	モ ノ ホ マ レ	6.29	18.15	1,140	100	100	100	100	
	ス タ ー ヒ ル	6.25	18.38	1,147	99	101	101	108	
中 央 農 試	ユ ー デ ン	8.17	16.73	1,365	104	100	104	99	1992~1995
	モ ノ ホ マ レ	7.87	16.65	1,308	100	100	100	100	
	ス タ ー ヒ ル	7.59	17.00	1,289	96	102	99	94	
上 川 農 試	ユ ー デ ン	6.82	17.80	1,209	102	101	103	102	1992~1995
	モ ノ ホ マ レ	6.69	17.67	1,178	100	100	100	100	
	ス タ ー ヒ ル	6.30	18.06	1,137	94	102	97	102	

参照 1) 北海道農務部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18 (1996).

- (2) リーランド (系統名 H123) 1997年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第41号

セールスポイント

「メロディー」より根重が多く、根中糖分はやや下回るが糖量が優る。

来歴 本品種は、オランダのバンデルハーベ種子会社が

二倍体雄性不稔系統「MOMS30, 13.4」を種子親に、四倍体多胚系統「T5/56」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1992年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、1993年から「H123」の系統名で各種の試験を行い、1997年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数は中である。

- 根形は円錐形，露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「メロディー」より多く，根中糖分は「メロディー」やや低く，糖量は「メロディー」より多い。
 3. 有害性非糖分は「メロディー」に比べ，アミノ態窒素はやや高く，カリウムは同程度，ナトリウムはやや高く，不純物価は「メロディー」やや高い。
 4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
 5. 耐病性は，褐斑病抵抗性は「スターヒル」と同じ弱

である。

6. 耐湿性は「モノホマレ」よりやや強く，「モノエースS」と同じ中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は，褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また，根腐れの発生することがあるので排水不良な圃場では栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	リ ー ラ ン ド	6.56	17.86	1,165	109	100	109	101	1993~1996
	モ ノ ホ マ レ	6.00	17.77	1,064	100	100	100	100	
	メ ロ デ ィ ー	5.81	18.43	1,067	97	104	100	100	
北 見 農 試	リ ー ラ ン ド	6.54	17.92	1,170	107	100	107	108	1993~1996
	モ ノ ホ マ レ	6.09	17.97	1,093	100	100	100	100	
	メ ロ デ ィ ー	5.59	18.50	1,106	98	103	101	98	
中 央 農 試	リ ー ラ ン ド	8.18	17.05	1,389	103	102	105	94	1993~1996
	モ ノ ホ マ レ	7.92	16.73	1,322	100	100	100	100	
	メ ロ デ ィ ー	7.65	17.33	1,318	97	104	100	93	
上 川 農 試	リ ー ラ ン ド	7.60	17.58	1,331	107	102	109	99	1993~1996
	モ ノ ホ マ レ	7.09	17.31	1,224	100	100	100	100	
	メ ロ デ ィ ー	6.74	18.08	1,215	95	104	99	94	

- 参照 1) 北海道農務部編，平成9年普及奨励ならびに指導参考事項，4-6 (1997).
2) 吉村康弘 等，北海道立農試集報. 73,69-73 (1997).

- (3) フルーデン (系統名 HT12) 1998年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第42号

セールスポイント

「スターヒル」より根重が多く，根中糖分は同程度で糖量がやや優る。また耐湿性が「中」で「スターヒル」より強く，根腐症状の発生が少ない。

来歴 本品種は，スウェーデンのノバルティス種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-350-O」を種子親に，二倍体多胚系統「2X/43」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。1993年に北海道糖業株式会社が輸入し，1994年から「HT12」の系統名で各種の試験を行い，1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立，葉長は中，葉数はやや多である。根形はやや短円錐形，露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「スターヒル」より多く，根中糖分は「スターヒル」並で，糖量は「スターヒル」よりやや多い。
3. 有害性非糖分は「スターヒル」に比べ，アミノ態窒素，カリウムは同程度，ナトリウムは高く，不純物価は「スターヒル」並である。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は，褐斑病抵抗性は「スターヒル」と同じ弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」，「スターヒル」より強く，「モノエースS」と同じ中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は，褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	フルーデン	6.41	17.82	1,137	103	102	104	105	1994~1997
	モノホマレ	6.25	17.49	1,092	100	100	100	100	
	スターヒル	6.08	17.90	1,087	97	102	100	107	
北 見 農 試	フルーデン	6.22	18.59	1,150	103	103	106	105	1994~1997
	モノホマレ	6.03	18.10	1,089	100	100	100	100	
	スターヒル	6.09	18.66	1,132	101	103	104	101	
中 央 農 試	フルーデン	7.38	17.13	1,255	96	103	99	101	1994~1997
	モノホマレ	7.66	16.65	1,272	100	100	100	100	
	スターヒル	7.15	17.14	1,222	93	103	96	94	
上 川 農 試	フルーデン	7.23	17.82	1,287	97	105	102	99	1994~1997
	モノホマレ	7.42	17.02	1,265	100	100	100	100	
	スターヒル	7.08	17.79	1,262	95	105	100	97	

参照 1) 北海道農務部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-14 (1998).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 75, 53-57 (1998).

(4) めぐみ (系統名 Kawe-J538) 1998年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第43号

セールスポイント

「モノエースS」より根重が多く, 根中糖分は下回る
が糖量が優る。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワンツレーベン種子
会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 9 E0020」を種子
親に, 四倍体多胚系統「PS 0 X8017」を花粉親として
育成した三倍体単胚の一代雑種である。1994年に日本甜
菜製糖株式会社が輸入し, 1995年から「Kawe-J538」
の系統名で各種の試験を行い, 1998年に優良品種となっ
た。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長はやや短, 葉数は中である。

根形は円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重は「モノエースS」より多く, 根中糖分は「モノエースS」より低く, 糖量は「モノエースS」より多い。
3. 有害性非糖分は「モノエースS」に比べ, アミノ態窒素は同程度, カリウム, ナトリウムは高く, 不純物価は「モノエースS」より高い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性は「モノエースS」と同じ弱である。
6. 耐湿性は「モノエースS」よりやや弱く, 「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また, 排水不良な圃場での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	め め ん	6.30	18.11	1,141	102	101	103	103	1995~1997
	モノホマレ	6.16	17.90	1,104	100	100	100	100	
	モノエースS	5.91	18.66	1,106	96	104	100	89	
北 見 農 試	め め ん	6.13	18.47	1,131	107	101	108	103	1995~1997
	モノホマレ	5.73	18.36	1,051	100	100	100	100	
	モノエースS	5.43	19.26	1,045	95	105	99	87	
中 央 農 試	め め ん	7.48	17.26	1,289	101	102	103	101	1995~1997
	モノホマレ	7.37	16.92	1,246	100	100	100	100	
	モノエースS	6.95	18.17	1,262	94	107	101	84	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
上 川 農 試	め ぐ み	7.66	17.67	1,352	101	102	104	94	1995～1997
	モノホマレ	7.57	17.24	1,306	100	100	100	100	
	モノエースS	7.17	18.29	1,312	95	106	100	80	

参照 1) 北海道農務部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 15-17 (1998).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 75, 59-63 (1998).

(5) シュベルト (系統名 北海70号) 1998年
登録番号: (北海道) てんさい北海道交第44号
(農水省) てんさい農林交17号
(種苗法) 第10058号

セールスポイント

そう根病抵抗性が強く、健全畑での収量が既存抵抗性品種より優る。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン種子会社育成の単胚二倍体単交配の雄性不稔系統「KRMS-4」(MOMS-3901×MOOT-4027)を種子親に、農林水産省北海道農業試験場育成の多胚二倍体系統「NK-212BR」を花粉親として、両者の国際共同研究により育成した単胚二倍体三系交配一代雑種である。1994年に「R1002」、1995年から「北海70号」の系統名で各種の試験を行い、1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立、葉長は長、葉数は多である。根形は円錐形である。

2. 根重は「モノホマレ」よりやや少なく、根中糖分は「モノホマレ」並で、糖量は「モノホマレ」よりやや少ない。
3. 有害性非糖分は「モノホマレ」に比べ、アミノ態窒素は高く、カリウムは同程度、ナトリウムは低く、不純物価は「モノホマレ」よりやや高い。
4. 抽苔耐性は「モノヒカリ」より強く、「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性は「リゾール」と同じ強、褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや強い中、根腐病抵抗性は「モノホマレ」と同じ弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円のそう根病発病地帯に適する。栽培上の注意は、そう根病圃場抵抗性を有するが、前回作付けした圃場の発病程度を十分考慮して、汚染程度が高いと思われる圃場での栽培は避ける。また、根腐病抵抗性、耐湿性が弱いのでこれらの発生が懸念される地帯での栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 海 道 農 試	シュベルト	5.76	16.79	970	95	103	98	102	1995～1997
	モノホマレ	6.08	16.27	987	100	100	100	100	
	モノホワイト	5.43	17.07	927	89	105	94	91	
十 勝 農 試	シュベルト	5.91	18.20	1,077	98	101	99	104	1995～1997
	モノホマレ	6.05	18.06	1,091	100	100	100	100	
	モノホワイト	5.51	18.85	1,039	91	104	95	90	
北 見 農 試	シュベルト	5.81	18.58	1,077	100	100	100	114	1995～1997
	モノホマレ	5.83	18.50	1,077	100	100	100	100	
	モノホワイト	5.35	19.22	1,027	92	104	95	92	
中 央 農 試	シュベルト	6.63	16.91	1,120	92	101	93	110	1995～1997
	モノホマレ	7.21	16.78	1,210	100	100	100	100	
	モノホワイト	6.75	17.83	1,204	94	106	100	89	
上 川 農 試	シュベルト	7.34	17.27	1,266	95	101	96	103	1995～1997
	モノホマレ	7.75	17.04	1,320	100	100	100	100	
	モノホワイト	7.07	18.14	1,281	91	106	97	90	

参照 1) 北海道農務部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-11 (1998).

(6) カプトマル (系統名 北海73号) 1999年
 登録番号：(北海道) てんさい北海道交第45号
 (農水省) てんさい農林交19号
 (種苗法) 第10626号

セールスポイント

「モノホマレ」より根重が多く、根中糖分は同程度で糖量が優る。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン種子会社育成の単胚二倍体単交配の雄性不稔系統「KMS-5」(MOMS-2099×MOOT-1502)を種子親に、農林水産省北海道農業試験場育成の多胚二倍体系統「NK-210BR」を花粉親として、両者の国際共同研究により育成した単胚二倍体三系交配の一代雑種である。1995年に「J1011」、1996年から「北海73号」の系統名で各種の試験を行い、1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立、葉長はやや長、葉数は中である。

根形はやや短円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。

2. 根重は「モノホマレ」よりやや多く、根中糖分は「モノホマレ」並で、糖量は「モノホマレ」よりやや多い。
3. 有害性非糖分は「モノホマレ」に比べ、アミノ態窒素、カリウムは同程度、ナトリウムはやや高く、不純物価は「モノホマレ」並である。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は、根腐病抵抗性が「モノホマレ」よりやや弱い弱、褐斑病抵抗性及びそう根病抵抗性は「モノホマレ」並のやや弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、根腐病抵抗性は弱なので、適正な輪作を行うとともに適期防除に留意する。また、耐湿性はやや弱なので、湿害の懸念される圃場での栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北海道農試	カプトマル	6.84	16.94	1,157	109	101	111	99	1996~1998
	モノホマレ	6.28	16.73	1,045	100	100	100	100	
十勝農試	カプトマル	6.61	17.35	1,140	109	101	109	99	1996~1998
	モノホマレ	6.09	17.20	1,045	100	100	100	100	
北見農試	カプトマル	6.24	18.58	1,156	108	101	109	95	1996~1998
	モノホマレ	5.78	18.32	1,059	100	100	100	100	
中央農試	カプトマル	8.07	16.76	1,345	106	101	107	108	1996~1998
	モノホマレ	7.61	16.60	1,259	100	100	100	100	
上川農試	カプトマル	8.16	17.47	1,422	103	103	106	99	1996~1998
	モノホマレ	7.90	16.95	1,338	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農務部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (1999).

(7) アーベント (系統名 H125) 1999年
 登録番号：(北海道) てんさい輸交第46号

セールスポイント

「ハミング」より根重が多く、根中糖分は同程度で糖量が優る。

来歴 本品種は、オランダのバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MOMS14B8,13.4」を種子親に、四倍体多胚系統「T18/06」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1994年にホクレン農業

協同組合連合会が輸入し、1995年から「H125」の系統名で各種の試験を行い、1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数は中である。
 根形は円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「ハミング」より多く、根中糖分は「ハミング」並で、糖量は「ハミング」より多い。
3. 有害性非糖分は「ハミング」に比べ、アミノ態窒素、カリウム、ナトリウムともに同程度で、不純物価は「ハミング」並である。

4. 抽苔耐性は「モノホマレ」,「ハミング」と同じ強である。
5. 耐病性は,褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く,「ハミング」と同じ弱である。根腐病抵抗性は「モノホマレ」と同じやや弱である。
6. 耐湿性は「ハミング」と同じで,「モノホマレ」よ

りやや強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は,褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ア ー ベ ン ト	6.26	17.94	1,121	102	104	106	91	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	6.16	17.21	1,058	100	100	100	100	
	ハ ミ ン グ	6.15	17.89	1,097	100	104	104	94	
北 見 農 試	ア ー ベ ン ト	6.18	18.83	1,162	104	104	108	84	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	5.95	18.16	1,078	100	100	100	100	
	ハ ミ ン グ	5.86	18.87	1,104	98	104	102	88	
中 央 農 試	ア ー ベ ン ト	7.91	17.07	1,346	106	104	111	86	1997~1998
	モ ノ ホ マ レ	7.46	16.34	1,214	100	100	100	100	
	ハ ミ ン グ	7.76	17.39	1,345	104	106	111	82	
上 川 農 試	ア ー ベ ン ト	8.18	17.70	1,447	104	104	108	84	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	7.90	16.95	1,338	100	100	100	100	
	ハ ミ ン グ	7.48	17.83	1,331	95	105	100	82	

- 参照 1) 北海道農務部編,平成11年普及奨励ならびに指導参考事項,7-9(1999).
2) 梶山 努 等,北海道立農試集報.77,9-12(1999).

- (8) モリーノ(系統名 HT15)1999年
登録番号:(北海道)てんさい輸交第47号

セールスポイント

そう根病抵抗性が強で,「エマ」より強く,健全畑での根重,糖量が「エマ」より優る。

来歴 本品種は,スウェーデンのノバルティス種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-367-0」を種子親に,二倍体多胚系統「2X/52」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。1995年に北海道糖業株式会社が輸入し,1996年から「HT15」の系統名で各種の試験を行い,1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立,葉長は中,葉数はやや多である。根形はやや短円錐形,露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「エマ」より多く,根中糖分は「エマ」より

低く,糖量は「エマ」より多い。

3. 有害性非糖分は「エマ」に比べ,アミノ態窒素は低く,カリウムは同程度,ナトリウムは高い,不純物価は「エマ」並である。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は,そう根病抵抗性は「エマ」よりやや強い強である。褐斑病抵抗性は「モノホマレ」,「エマ」より強いやや強,根腐病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱い弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円のそう根病発生地帯に適する。栽培上の注意は,そう根病抵抗性は強であるが,汚染程度が高いと思われる圃場での栽培は避ける。根腐病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。耐湿性はやや弱なので,湿害が懸念される圃場での栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	モ リ ー ノ	6.75	16.71	1,027	110	97	107	103	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	6.16	17.21	1,058	100	100	100	100	
	エ マ	6.34	17.74	1,104	(97)	(102)	(100)	(104)	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	モ リ ー ノ	6.12	17.47	1,067	103	96	99	106	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	5.95	18.16	1,078	100	100	100	100	
	エ マ	5.69	18.68	1,058	(93)	(102)	(95)	(102)	
中 央 農 試	モ リ ー ノ	7.23	16.54	1,192	95	100	95	101	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	7.61	16.34	1,259	100	100	100	100	
	エ マ	7.21	16.70	1,197	(97)	(102)	(99)	(105)	
上 川 農 試	モ リ ー ノ	8.40	16.74	1,405	106	99	105	101	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	7.90	16.95	1,338	100	100	100	100	
	エ マ	7.94	17.65	1,395	(98)	(104)	(102)	(99)	

注) 「エマ」は1997~1998年の2ヶ年平均で、対「モノホマレ」比は同年の比率。

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-6 (1999).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 77, 13-16 (1999).

(9) スコーネ (系統名 HT14) 2000年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第48号

セールスポイント

耐湿性の中で、「ユーデン」より黒根病, 根腐病の発生がやや少ない。また、「ユーデン」より根重はやや少ないが糖量は同程度であり, 不純物価がやや低く品質が良好である。

来歴 本品種は, スウェーデンのノバルティス種子会社が二倍体単胚雌性不稔系統「MS-382-E」を種子親に, 四倍体多胚系統「4X/9」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1994年に北海道糖業株式会社が輸入し, 1996年から「HT14」の系統名で各種の試験を行い, 2000年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長は中, 葉数は中である。根形

はやや短円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。

- 根重は「ユーデン」よりやや少なく, 根中糖分, 糖量は「ユーデン」並である。
- 有害性非糖分は「ユーデン」に比べ, アミノ態窒素は低く, カリウムは同程度, ナトリウムは低い。不純物価は「ユーデン」よりやや低い。
- 抽苔耐性は「モノホマレ」, 「ユーデン」と同じ強である。
- 耐病性は, 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く, 「ユーデン」並の弱, 根腐病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱い弱, 黒根病の発生は「モノホマレ」並からやや多いが, 「ユーデン」より少ない。
- 耐湿性は「モノホマレ」よりやや強く中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また, 根腐病抵抗性が既存品種同様に弱なので適期防除に留意する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ス コ ー ネ	6.48	17.18	1,112	109	101	110	98	1996~1999
	モ ノ ホ マ レ	5.96	16.95	1,010	100	100	100	100	
	ユ ー デ ン	6.44	17.01	1,094	108	100	108	107	
北 見 農 試	ス コ ー ネ	6.30	18.57	1,167	106	102	109	91	1996~1999
	モ ノ ホ マ レ	5.93	18.12	1,074	100	100	100	100	
	ユ ー デ ン	6.38	18.29	1,165	108	101	108	104	
中 央 農 試	ス コ ー ネ	7.53	16.77	1,264	104	103	107	94	1996~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.25	16.26	1,181	100	100	100	100	
	ユ ー デ ン	7.77	16.54	1,282	107	102	109	99	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
上 川 農 試	ス コ ー ネ	7.65	17.60	1,345	100	104	104	88	1996~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.62	16.91	1,288	100	100	100	100	
	ユ ー デ ン	8.00	17.26	1,379	105	102	107	96	

参照 1) 北海道農務部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12 (2000).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 79, 73-76 (2000).

(10) のぞみ (系統名 Kawe-J7123) 2000年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第49号

セールスポイント

「ストーク」より根重が多く, 根中糖分は下回るが糖量が優る。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 2 A0019」を種子親に, 二倍体多胚系統「PS 1 R 7597」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。1996年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し, 1997年から「Kawe-J7123」の系統名で各種の試験を行い, 2000年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立, 葉長はやや短, 葉数はやや多である。
根形はやや短円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「ストーク」よりかなり多く, 根中糖分は「ストーク」より低く, 糖量は「ストーク」よりかな

り多い。

3. 有害性非糖分は「ストーク」に比べ, アミノ態窒素はやや低く, カリウム, ナトリウム, 不純物価は同程度である。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」, 「ストーク」と同じ強である。
5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く, 「ストーク」並の弱である。根腐病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱い弱である。黒根病の発生は「モノホマレ」並からやや多く, 「ストーク」並である。
6. 耐湿性は「ストーク」よりやや弱く, 「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また, 根腐病抵抗性は既存品種と同様弱なので適期防除に留意する。排水不良圃場での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	の ぞ み	6.69	16.93	1,134	109	101	110	87	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	6.13	16.74	1,027	100	100	100	100	
	ス ト ー ク	5.81	17.71	1,029	95	106	100	92	
北 見 農 試	の ぞ み	6.42	18.81	1,207	106	103	110	81	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	6.03	18.24	1,098	100	100	100	100	
	ス ト ー ク	5.35	19.40	1,038	89	106	95	80	
中 央 農 試	の ぞ み	7.82	16.38	1,281	111	103	114	82	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.03	15.97	1,125	100	100	100	100	
	ス ト ー ク	7.01	16.76	1,174	100	105	104	87	
上 川 農 試	の ぞ み	7.91	17.66	1,397	103	104	108	74	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.65	16.93	1,294	100	100	100	100	
	ス ト ー ク	7.04	18.40	1,293	92	109	100	76	

参照 1) 北海道農務部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-15 (2000).
2) 有田敬俊 等, 北海道立農試集報. 79, 77-80 (2000).

(11) スタウト (系統名 H126) 2001年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第50号

セールスポイント

褐斑病抵抗性が強、根腐病抵抗性が中で、「アーベント」に比べ褐斑病、根腐症状の発生が少ない。

来歴 本品種は、オランダのバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「10CR」を種子親に、四倍体多胚系統「T16/80」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1996年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、1997年から「H126」の系統名で各種の試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数は中である。
根形は円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「アーベント」よりやや多く、根中糖分は

- 「アーベント」よりやや低く、糖量は「アーベント」並である。
3. 有害性非糖分は「アーベント」に比べ、アミノ態窒素、カリウムは同程度、ナトリウムはやや高く、不純物価は「アーベント」並である。
 4. 抽苔耐性は「モノホマレ」、「アーベント」と同じ強である。
 5. 耐病性は、褐斑病抵抗性は「モノホマレ」、「アーベント」より強い強、根腐病抵抗性は「モノホマレ」、「アーベント」よりやや強い中である。
 6. 耐湿性は「モノホマレ」よりやや強く、「アーベント」と同じ中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性は強であるが、薬剤防除が必要な場合があるので本病の発生推移を観察し、防除の要否を判断する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ス タ ウ ト	6.61	16.69	1,103	107	101	108	96	1997~2000
	モ ノ ホ マ レ	6.15	16.59	1,021	100	100	100	100	
	ア ー ベ ント	6.40	17.24	1,104	104	104	108	92	
北 見 農 試	ス タ ウ ト	6.54	17.54	1,140	107	99	105	93	1997~2000
	モ ノ ホ マ レ	6.11	17.74	1,082	100	100	100	100	
	ア ー ベ ント	6.45	18.13	1,164	106	102	108	87	
中 央 農 試	ス タ ウ ト	7.99	16.19	1,291	114	101	115	92	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.03	15.97	1,125	100	100	100	100	
	ア ー ベ ント	7.81	16.77	1,306	111	105	116	86	
上 川 農 試	ス タ ウ ト	8.20	16.93	1,381	103	104	107	84	1997~2000
	モ ノ ホ マ レ	7.94	16.35	1,293	100	100	100	100	
	ア ー ベ ント	8.15	17.01	1,382	103	104	107	83	

参照 1) 北海道農務部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-15 (2001).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 81, 29-32 (2001).

(12) きたさやか (系統名 Kawe-J 8131) 2001年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第51号

セールスポイント

そう根病抵抗性が強で、健全畑での収量が「リゾール」より優る。また、褐斑病抵抗性がやや強、耐湿性が中で「リゾール」より優る。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 6 J2204」を種子親に、二倍体多胚系統「PS 5 R8801」を花粉親として

育成した二倍体単胚の一代雑種である。1997年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、1998年から「Kawe-J8131」の系統名で各種の試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長はやや短、葉数は多である。根形は短円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「めぐみ」、「リゾール」よりかなり多く、根中糖分は「めぐみ」、「リゾール」より低く、糖量は「めぐみ」より多く、「リゾール」よりかなり多い。

3. 有害性非糖分は「めぐみ」, 「リゾール」に比べ, アミノ態窒素は「めぐみ」並で「リゾール」より低く, カリウムは低く, ナトリウムは「めぐみ」より低く, 「リゾール」より高く, 不純物価は「めぐみ」, 「リゾール」より低い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」, 「めぐみ」, 「リゾール」と同じ強である。
5. 耐病性は, そう根病抵抗性は「リゾール」と同じ強, 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」, 「めぐみ」より強く「リゾール」よりやや強いやや強, 根腐病抵抗性は

- 「モノホマレ」, 「めぐみ」よりやや弱い弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」, 「めぐみ」よりやや強く, 「リゾール」より強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円のそう根病発生地帯に適する。栽培上の注意は, そう根病抵抗性は強であるが, 汚染程度が高い圃場での栽培は避ける。また, 根腐病抵抗性が弱なので適期防除に留意する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	き た さ や か	6.91	16.11	1,114	114	99	113	87	1998~2000
	モ ノ ホ マ レ	6.08	16.25	988	100	100	100	100	
	リ ゾ ー ル	5.85	16.44	960	96	101	97	110	
	め ぐ み	6.26	16.46	1,030	103	101	104	105	
北 見 農 試	き た さ や か	7.18	16.69	1,194	116	97	112	82	1998~2000
	モ ノ ホ マ レ	6.20	17.21	1,066	100	100	100	100	
	リ ゾ ー ル	5.61	17.35	972	90	101	91	110	
	め ぐ み	6.33	17.22	1,085	102	100	102	107	
中 央 農 試	き た さ や か	8.62	15.45	1,332	119	100	119	83	1998~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.23	15.47	1,123	100	100	100	100	
	リ ゾ ー ル	6.23	15.60	971	86	101	86	112	
	め ぐ み	8.05	15.51	1,251	111	100	111	101	
上 川 農 試	き た さ や か	9.03	15.90	1,429	110	99	109	79	1998~2000
	モ ノ ホ マ レ	8.18	16.02	1,307	100	100	100	100	
	リ ゾ ー ル	7.50	16.45	1,228	92	103	94	112	
	め ぐ み	8.29	16.61	1,370	101	104	105	95	

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18 (2001).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報, 81, 33-36 (2001).

(13) えとぴりか (系統名 KWS9226) 2002年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第52号

セールスポイント

「めぐみ」より根重, 根中糖分が, 「のぞみ」より根中糖分が高く, 糖量が優る。また, 不純物価が低く品質が良好である。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 5 A3983」を種子親に, 四倍体多胚系統「PS 6 X8028」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1998年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し, 1999年から「KWS9226」の系統名で各種の試験を行い, 2002年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長は中, 葉数は中である。根形はやや短円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「めぐみ」より多く, 「のぞみ」並で, 根中糖分は「めぐみ」, 「のぞみ」より高く, 糖量は「めぐみ」より多く, 「のぞみ」よりやや多い。
3. 有害性非糖分は「めぐみ」, 「のぞみ」に比べ, アミノ態窒素は同程度, カリウム, ナトリウムは「めぐみ」より低く, 「のぞみ」と同程度, 不純物価は「めぐみ」よりかなり低く, 「のぞみ」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」, 「めぐみ」, 「のぞみ」と同じ強である。
5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く, 「めぐみ」, 「のぞみ」と同じ弱, 根腐病抵抗性は「モノホマレ」, 「めぐみ」よりやや弱く, 「のぞみ」

と同じ弱である。

6. 耐湿性は「モノホマレ」, 「めぐみ」, 「のぞみ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性が弱なので適切な防除に努める。また、根腐病抵抗性が弱なので適期防除に留意する。排水不良な圃場での栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	え と び り か	6.18	17.28	1,070	104	103	107	77	1999~2001
	モ ノ ホ マ レ	5.95	16.74	997	100	100	100	100	
	め ぐ み	6.00	16.97	1,019	101	101	102	102	
	の ぞ み	6.41	16.81	1,079	108	100	108	83	
北 見 農 試	え と び り か	6.94	17.70	1,227	112	103	115	82	1999~2001
	モ ノ ホ マ レ	6.21	17.14	1,063	100	100	100	100	
	め ぐ み	6.41	17.15	1,096	103	100	103	107	
	の ぞ み	6.63	17.06	1,127	107	100	106	86	
中 央 農 試	え と び り か	7.64	16.20	1,235	107	108	115	77	1999, 2001
	モ ノ ホ マ レ	7.11	15.05	1,071	100	100	100	100	
	め ぐ み	7.81	15.09	1,177	110	100	110	101	
	の ぞ み	7.84	15.40	1,208	110	102	113	84	
上 川 農 試	え と び り か	7.81	17.22	1,336	102	106	108	78	1999~2001
	モ ノ ホ マ レ	7.63	16.27	1,233	100	100	100	100	
	め ぐ み	7.69	16.77	1,278	101	103	104	96	
	の ぞ み	7.64	16.75	1,264	100	103	103	80	

参照 1) 北海道農務部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 7-9 (2002).

2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 83, 15-18 (2002).

(14) ユキヒノデ (系統名 北海83号) 2003年

登録番号: (北海道) てんさい北海道交第53号

(農水省) てんさい農林交21号

(種苗法) 第 号

セールスポイント

そう根病抵抗性と褐斑病抵抗性がともに強で、黒根病の発生は少ない。

来歴 本品種は、オランダのアドバンタ社育成の単胚二倍体雄性不稔系統「MOMS149」を種子親に、北海道農業研究センター育成の多胚二倍体系統「NK-212BR」を花粉親として、両者の国際共同研究により育成した単胚二倍体の一代雑種である。1999年に「K1228」、2000年から「北海83号」の系統名で各種の試験を行い、2003年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長は長、葉数はやや多である。根形はやや円錐形、露肩はやや少で分岐根はやや少である。

2. 根重は「カプトマル」より少なく「シュベルト」並、根中糖分は「カプトマル」並で、「シュベルト」より高く、糖量は「カプトマル」より少なく、「シュベルト」より多い。

3. 有害性非糖分は「カプトマル」, 「シュベルト」に比べ、アミノ態窒素は「カプトマル」と同程度で、「シュベルト」より低く、カリウムは同程度で、ナトリウムは「カプトマル」と同程度で、「シュベルト」より高い。不純物価は「カプトマル」, 「シュベルト」より低い。

4. 抽苔耐性は「カプトマル」, 「シュベルト」よりやや弱いやや強である。

5. 耐病性は、そう根病抵抗性は「シュベルト」と同じ強で、褐斑病抵抗性は「シュベルト」より強い強で、根腐病抵抗性は「カプトマル」, 「シュベルト」と同じ弱である。

6. 耐湿性は「カプトマル」, 「シュベルト」より強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円のそう根病発生地帯に適する。栽培上の注

意は、根腐病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また、抽苔耐性はやや強であるが、育苗中の低温で抽苔す

る懸念があるため、極端な早期播種は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 農 研 セ ン タ ー	ユ キ ヒ ノ デ	6.77	17.83	1,205	98	102	99	92	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.92	17.51	1,212	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	7.33	17.72	1,299	106	101	107	96	
	シ ュ ベ ル ト	6.70	17.43	1,168	97	100	96	99	
十 勝 農 試	ユ キ ヒ ノ デ	6.42	17.55	1,128	102	102	104	99	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.30	17.20	1,085	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	7.01	17.14	1,201	111	100	111	104	
	シ ュ ベ ル ト	6.34	17.09	1,085	101	99	100	106	
北 見 農 試	ユ キ ヒ ノ デ	6.43	17.36	1,113	103	102	105	95	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.27	17.00	1,064	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	6.85	16.78	1,147	109	99	108	110	
	シ ュ ベ ル ト	6.43	16.74	1,073	103	99	101	117	
中 央 農 試	ユ キ ヒ ノ デ	7.91	15.61	1,235	98	102	100	108	2001~2002
	モ ノ ホ マ レ	8.06	15.34	1,237	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	8.33	15.36	1,278	103	100	103	109	
	シ ュ ベ ル ト	7.84	15.00	1,178	97	98	95	113	
上 川 農 試	ユ キ ヒ ノ デ	7.80	17.04	1,315	103	102	106	101	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	7.54	16.62	1,240	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	7.65	16.64	1,248	101	100	101	102	
	シ ュ ベ ル ト	7.18	16.49	1,170	95	99	94	107	

参照 1) 北海道農務部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18 (2003).

(15) アセンド (系統名 H129) 2004年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第54号

セールスポイント

「アーベント」より根重が多く、糖量が優る。

来歴 本品種は、オランダのアドバンタ社が二倍体単胚雄性不稔系統「MOMS14B8, 13, 4」を種子親に、四倍体多胚系統「T21/78」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。2000年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、2001年から「HT29」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数はやや多である。根形は円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。

2. 根重は「アーベント」よりやや多く、根中糖分は「アーベント」並で、糖量は「アーベント」より多い。
3. 有害性非糖分は「アーベント」に比べ、アミノ態窒素はやや高く、カリウム、ナトリウムは同程度で、不純物価は「アーベント」並である。
4. 抽苔耐性は「アーベント」と同じ強である。
5. 耐病性は、褐斑病抵抗性は「アーベント」と同じ弱、根腐病抵抗性は「アーベント」と同じやや弱、黒根病抵抗性は「モノホマレ」と同じ中である。
6. 耐湿性は「アーベント」よりやや弱く、「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性が弱なので適切な防除に努める。また、そう根病に抵抗性を持たないので、発病圃場での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ア セ ン ド	6.88	18.31	1,259	106	103	109	89	2001~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.47	17.85	1,154	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	6.48	18.43	1,194	100	103	104	93	
北 見 農 試	ア セ ン ド	6.75	18.01	1,215	109	101	110	99	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	6.21	17.76	1,101	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	6.36	18.26	1,162	102	103	105	92	
中 央 農 試	ア セ ン ド	8.54	16.17	1,382	102	104	106	89	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	8.36	15.55	1,301	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	8.44	16.03	1,353	101	103	104	99	
上 川 農 試	ア セ ン ド	7.91	18.41	1,456	108	103	111	88	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	7.33	17.87	1,311	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	7.57	18.27	1,382	103	102	105	91	

参照 1) 北海道農務部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-6 (2004).
2) 飯田修三 等, 北海道立農試集報. 87, 37-40 (2004).

(16) あまいぶき (系統名 KWS0213) 2004年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第55号

セールスポイント

「のぞみ」より根重はかなり少ないが, 根中糖分がかなり高く, 不純物価が低く品質が良好である。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 5 A3938」を種子親に, 四倍体多胚系統「PS 6 X8067」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1999年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し, 2000年から「KWS0213」の系統名で各種の試験を行い, 2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長はやや短, 葉数はやや多である。根形は円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「のぞみ」より少なく, 「モノホワイト」並で, 根中糖分は「のぞみ」, 「モノホワイト」より高く,

糖量は「のぞみ」より少なく, 「モノホワイト」より多い。

3. 有害性非糖分は「のぞみ」, 「モノホワイト」に比べ, アミノ態窒素は同程度, カリウムは「モノホワイト」よりやや低く「のぞみ」並, ナトリウムは「のぞみ」よりやや低く「モノホワイト」並である。不純物価は「のぞみ」よりやや低く, 「モノホワイト」より低い。
4. 抽苔耐性は「のぞみ」と同じ強である。
5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く, 「のぞみ」と同じ弱, 根腐病抵抗性は「のぞみ」よりやや強いく, 「モノホマレ」と同じやや弱, 黒根病抵抗性は「モノホマレ」と同じ中である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」, 「のぞみ」よりやや強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性が弱なので適切な防除に努める。また, そう根病に抵抗性を持たないので発病圃場での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	あ ま い ぶ き	6.00	18.39	1,104	94	106	100	81	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.38	17.29	1,104	100	100	100	100	
	の ぞ み	6.64	17.41	1,157	104	101	105	83	
	モ ノ ホ ワ イ ト	5.80	18.15	1,053	91	105	95	93	
北 見 農 試	あ ま い ぶ き	6.24	18.56	1,155	100	107	107	83	2000~2003
	モ ノ ホ マ レ	6.25	17.37	1,084	100	100	100	100	
	の ぞ み	6.73	17.32	1,164	108	100	107	90	
	モ ノ ホ ワ イ ト	5.60	18.11	1,011	90	104	93	95	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
中 央 農 試	あ ま い ぶ き	7.77	17.03	1,322	93	110	102	85	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	8.36	15.55	1,301	100	100	100	100	
	の ぞ み	8.62	15.97	1,376	103	103	106	91	
	モ ノ ホ ワ イ ト	7.12	16.55	1,179	85	106	91	97	
上 川 農 試	あ ま い ぶ き	7.29	18.30	1,324	95	107	101	84	2000~2003
	モ ノ ホ マ レ	7.70	17.06	1,305	100	100	100	100	
	の ぞ み	7.83	17.39	1,349	102	102	103	83	
	モ ノ ホ ワ イ ト	7.20	17.85	1,277	93	105	98	96	

参照 1) 北海道農務部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 7-9 (2004).
2) 飯田修三 等, 北海道立農試集報, 87, 33-36 (2004).

(17) フルーデンR (系統名 HT21) 2004年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第56号

セールスポイント

そう根病抵抗性が強く、健全畑での根中糖分が「モリーノ」より高い。また、「フルーデン」より不純物価がやや低く品質が良好であり、褐斑病抵抗性が「やや強」で優る。

来歴 本品種は、スウェーデンのシンジェンタ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-388-0」を種子親に、二倍体多胚系統「2X/55」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2000年に北海道糖業株式会社が輸入し、2001年から「HT21」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長は中、葉数はやや多である。根形はやや短円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「モリーノ」より少なく「フルーデン」並、根中糖分は「フルーデン」並で「モリーノ」より高く、

糖量は「フルーデン」並で、「モリーノ」よりやや少ない。

3. 有害性非糖分は「フルーデン」、「モリーノ」に比べ、アミノ態窒素は同程度、カリウムは「フルーデン」よりやや高く、「モリーノ」と同程度、ナトリウムは低く、不純物価は「フルーデン」、「モリーノ」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」、「フルーデン」、「モリーノ」と同じ強である。
5. 耐病性は、褐斑病抵抗性は「モノホマレ」、「フルーデン」より強く、「モリーノ」と同じやや強、根腐病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く、「フルーデン」、「モリーノ」と同じ弱、そう根病抵抗性は「モリーノ」と同じ強、黒根病抵抗性は「モノホマレ」と同じ中である。
6. 耐湿性は「フルーデン」と同じで、「モノホマレ」、「モリーノ」よりやや強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、根腐病抵抗性は弱なので適切な防除に努める。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	フ ル ー デ ン R	6.02	18.93	1,138	93	106	99	97	2001~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.46	17.85	1,154	100	100	100	100	
	フ ル ー デ ン	6.01	19.11	1,148	93	107	99	102	
	モ リ ー ノ	6.60	17.90	1,181	102	100	102	105	
北 見 農 試	フ ル ー デ ン R	5.75	18.69	1,073	93	105	97	108	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	6.21	17.76	1,101	100	100	100	100	
	フ ル ー デ ン	5.88	18.96	1,115	95	107	101	110	
	モ リ ー ノ	6.21	18.28	1,131	100	103	103	104	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
中 央 農 試	フルーデン R	7.79	16.22	1,264	93	104	97	115	2001~2003
	モノホマレ	8.36	15.55	1,301	100	100	100	100	
	フルーデン	7.38	16.56	1,222	88	106	94	112	
	モリーノ	8.19	15.53	1,273	98	100	98	118	
上 川 農 試	フルーデン R	6.34	18.95	1,202	86	106	92	100	2001~2003
	モノホマレ	7.33	17.87	1,311	100	100	100	100	
	フルーデン	6.84	19.17	1,311	93	107	100	110	
	モリーノ	7.04	18.20	1,283	96	102	98	111	

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12 (2004).
2) 山田誠司 等, 北海道立農試集報, 87, 41-44 (2004).